

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／不動産投信	
信託期間	2015年3月20日から2025年3月14日までです。	
運用方針	投資信託証券への投資を通じて、主として米国の取引所に上場（上場予定を含みます。）している不動産投資信託または不動産投資法人が発行する優先証券に実質的に投資します。実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図ります。	
主要投資対象	当ファンド	NB・OAM優先リートファンド（為替ヘッジあり）（適格機関投資家専用）およびマネー・リクイディティ・マザーファンドを主要投資対象とします。
	NB・OAM優先リートファンド（為替ヘッジあり）（適格機関投資家専用）	NB・OAM優先リート・マザーファンドへの投資を通じて、米国の金融商品取引所等（これに準じるものを含みます。）に上場している不動産投資信託および不動産投資法人が発行する優先リートを主要投資対象とします。また、普通リートにも投資することがあります。
	マネー・リクイディティ・マザーファンド	わが国の公社債および短期金融商品を主要投資対象とします。
投資制限	株式への直接投資は行いません。投資信託証券への投資割合には制限を設けません。外貨建資産への直接投資は行いません。	
分配方針	毎月15日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、原則として、以下の方針に基づき、収益分配を行います。分配対象収益の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。繰越分を含めた配当等収益には、マネー・リクイディティ・マザーファンドの配当等収益のうち、投資信託財産に帰属すべき配当等収益を含むものとします。分配金額は、委託会社が分配可能額、基準価額水準等を勘案して決定します。分配可能額が少額の場合や基準価額水準によっては、収益分配を行わないことがあります。	

運用報告書（全体版）

米国優先リートオープン （毎月決算型）（為替ヘッジあり）

第61期（決算日 2020年4月15日） 第64期（決算日 2020年7月15日）
 第62期（決算日 2020年5月15日） 第65期（決算日 2020年8月17日）
 第63期（決算日 2020年6月15日） 第66期（決算日 2020年9月15日）

受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。
 皆様の「米国優先リートオープン（毎月決算型）（為替ヘッジあり）」は、2020年9月15日に第66期決算を迎えましたので、過去6ヵ月間（第61期～第66期）の運用状況ならびに決算のご報告を申し上げます。

今後とも、一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。



〒104-0031 東京都中央区京橋2-2-1

お問い合わせは弊社営業部 セールスサポートグループへ
 フリーダイヤル ☎ 0120-048-214（営業日の9:00～17:00）

[ホームページ]

<https://www.okasan-am.jp>

※アクセスにかかる通信料はお客様のご負担となります。

○最近30期の運用実績

決算期	基準価額			ICE BofA REIT Preferred Securities Index		債券組入比率	投資信託証券比率	純資産額
	(分配落)	税込み分配金	期中騰落率	(参考指数)	期中騰落率			
	円	円	%	ポイント	%	%	%	百万円
37期(2018年4月16日)	8,831	20	△1.0	422.362	△1.9	0.6	96.7	205
38期(2018年5月15日)	8,834	20	0.3	421.626	△0.2	0.6	97.2	194
39期(2018年6月15日)	8,992	20	2.0	435.124	3.2	0.6	96.3	193
40期(2018年7月17日)	9,131	20	1.8	444.432	2.1	0.5	102.1	164
41期(2018年8月15日)	9,060	20	△0.6	436.586	△1.8	0.7	94.6	173
42期(2018年9月18日)	9,021	20	△0.2	441.585	1.1	0.7	96.4	167
43期(2018年10月15日)	8,620	20	△4.2	412.605	△6.6	0.8	97.2	148
44期(2018年11月15日)	8,630	20	0.3	419.398	1.6	0.8	97.1	148
45期(2018年12月17日)	8,295	20	△3.7	404.912	△3.5	0.6	96.7	139
46期(2019年1月15日)	8,426	20	1.8	426.646	5.4	0.9	97.6	139
47期(2019年2月15日)	8,690	20	3.4	440.566	3.3	0.9	96.2	137
48期(2019年3月15日)	8,915	20	2.8	455.602	3.4	0.9	97.5	138
49期(2019年4月15日)	8,936	20	0.5	460.438	1.1	0.9	96.1	145
50期(2019年5月15日)	8,842	20	△0.8	460.825	0.1	0.9	96.6	134
51期(2019年6月17日)	8,881	20	0.7	470.802	2.2	0.8	96.9	149
52期(2019年7月16日)	8,879	20	0.2	476.078	1.1	0.6	96.9	145
53期(2019年8月15日)	8,896	20	0.4	482.923	1.4	0.9	96.8	145
54期(2019年9月17日)	8,906	20	0.3	481.142	△0.4	0.9	97.2	145
55期(2019年10月15日)	9,009	20	1.4	493.067	2.5	0.6	79.9	195
56期(2019年11月15日)	8,891	20	△1.1	484.495	△1.7	0.3	97.1	284
57期(2019年12月16日)	8,792	20	△0.9	487.684	0.7	0.4	97.3	298
58期(2020年1月15日)	8,933	20	1.8	501.629	2.9	0.2	95.9	308
59期(2020年2月17日)	8,955	20	0.5	503.995	0.5	0.4	97.9	305
60期(2020年3月16日)	7,279	20	△18.5	462.945	△8.1	0.5	97.6	246
61期(2020年4月15日)	7,079	20	△2.5	475.375	2.7	0.4	97.3	239
62期(2020年5月15日)	6,853	20	△2.9	480.990	1.2	0.4	97.5	231
63期(2020年6月15日)	7,574	20	10.8	489.449	1.8	0.5	97.9	249
64期(2020年7月15日)	7,338	20	△2.9	493.890	0.9	0.5	97.7	241
65期(2020年8月17日)	7,806	20	6.7	512.514	3.8	0.5	97.7	256
66期(2020年9月15日)	7,863	20	1.0	517.009	0.9	0.5	97.6	258

(注) 基準価額および分配金（税引前）は1万口当たり、基準価額の騰落率は分配金（税引前）込み。

(注) ICE BofA REIT Preferred Securities Indexは当ファンドの参考指数であり、ベンチマークではありません。ICE BofA REIT Preferred Securities Indexは当該日前営業日の現地終値です。

(注) 当ファンドはマザーファンドを組み合わせますので、債券組入比率は実質比率を記載しております。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決算期	年 月 日	基 準 価 額		ICE BofA REIT Preferred Securities Index		債 券 組 入 比 率	投 資 信 託 証 券 組 入 比 率
		騰 落 率		(参考指数)	騰 落 率		
第61期	(期 首) 2020年3月16日	円 7,279	% —	ポイント 462.945	% —	% 0.5	% 97.6
	3月末	6,588	△ 9.5	452.457	△2.3	0.4	97.4
	(期 末) 2020年4月15日	7,099	△ 2.5	475.375	2.7	0.4	97.3
第62期	(期 首) 2020年4月15日	7,079	—	475.375	—	0.4	97.3
	4月末	7,241	2.3	483.911	1.8	0.4	97.5
	(期 末) 2020年5月15日	6,873	△ 2.9	480.990	1.2	0.4	97.5
第63期	(期 首) 2020年5月15日	6,853	—	480.990	—	0.4	97.5
	5月末	7,360	7.4	490.989	2.1	0.4	97.7
	(期 末) 2020年6月15日	7,594	10.8	489.449	1.8	0.5	97.9
第64期	(期 首) 2020年6月15日	7,574	—	489.449	—	0.5	97.9
	6月末	7,430	△ 1.9	490.045	0.1	0.4	97.9
	(期 末) 2020年7月15日	7,358	△ 2.9	493.890	0.9	0.5	97.7
第65期	(期 首) 2020年7月15日	7,338	—	493.890	—	0.5	97.7
	7月末	7,600	3.6	506.541	2.6	0.5	97.8
	(期 末) 2020年8月17日	7,826	6.7	512.514	3.8	0.5	97.7
第66期	(期 首) 2020年8月17日	7,806	—	512.514	—	0.5	97.7
	8月末	7,904	1.3	515.510	0.6	0.5	97.8
	(期 末) 2020年9月15日	7,883	1.0	517.009	0.9	0.5	97.6

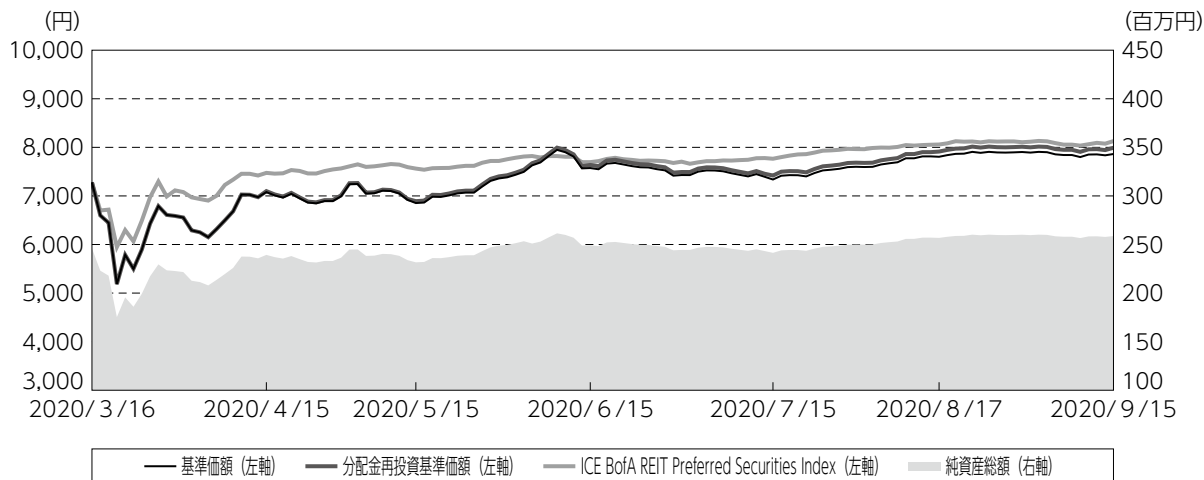
(注) 期末基準価額は1万円当たり分配金(税引前)込み、騰落率は期首比。

ICE BofA REIT Preferred Securities Indexは、ICE Data Indices, LLC、その関係会社（「ICE Data」）及び/又はその第三者サブライヤーの財産であり、岡三アセットマネジメント株式会社による使用のためにライセンスされています。ICE Data及びその第三者サブライヤーは、その使用に関して一切の責任を負いません。

運用経過

作成期間中の基準価額等の推移

（2020年3月17日～2020年9月15日）



第61期首：7,279円
 第66期末：7,863円（既払分配金（税引前）：120円）
 騰落率：9.8%（分配金再投資ベース）

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 参考指数は、ICE BofA REIT Preferred Securities Indexです。
- (注) 分配金再投資基準価額および参考指数は、作成期首（2020年3月16日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドの主要投資対象である「NB・OAM優先リートファンド（為替ヘッジあり）（適格機関投資家専用）」における主なプラス要因およびマイナス要因は以下の通りです。

（主なプラス要因）

- ・米国優先リートの安定的なインカムゲインがプラスに寄与しました。
- ・米国優先リート市場が上昇したことが、プラスに寄与しました。

（主なマイナス要因）

- ・為替ヘッジコストがマイナスに影響しました。

投資環境

（2020年3月17日～2020年9月15日）

米国優先リート市場は、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う経済活動停滞等の影響から、景気悪化懸念が強まり、投資家心理が悪化したことから、下落しました。しかし、2020年3月下旬に入ってから、トランプ政権が大規模な経済対策を打ち出したことや、米連邦準備制度理事会（FRB）が無制限で量的緩和を行うと表明したことなどが好材料となり反発しました。5月以降は、新型コロナウイルスの感染第2波への警戒感が強まり、下落する場面もありましたが、FRBがゼロ金利政策を継続する姿勢を示したことなどを受けて、低金利環境が続くとの見方から優先リートの利回り面での投資魅力が高まり、上昇基調を辿る展開となりました。また、新型コロナウイルス感染症向けワクチンの開発進捗が報じられたことも好材料となりました。

日本国内の短期金融市場は、日銀によるマイナス金利政策の継続を背景に、短期金利がマイナス圏での推移となりました。

当ファンドのポートフォリオ

（2020年3月17日～2020年9月15日）

<米国優先リートオープン（毎月決算型）（為替ヘッジあり）>

「NB・OAM優先リートファンド（為替ヘッジあり）（適格機関投資家専用）」を概ね97%前後で組入れ、「マネー・リクイディティ・マザーファンド」とあわせ、高位の組入れを維持しました。

○NB・OAM優先リートファンド（為替ヘッジあり）（適格機関投資家専用）

NB・OAM優先リート・マザーファンドへの投資を通じて、主として米国の取引所に上場している不動産投資信託または不動産投資法人が発行する優先証券に投資し、安定的な収益と投資元本の保全を目指して運用を行いました。また、米国優先リートの組入れを高位で維持する一方、ポートフォリオの流動性と分散効果を考慮し、普通リートを一部組み入れました。

実質組入外貨建資産については、運用の基本方針に則り、為替ヘッジを行いました。

○マネー・リクイディティ・マザーファンド

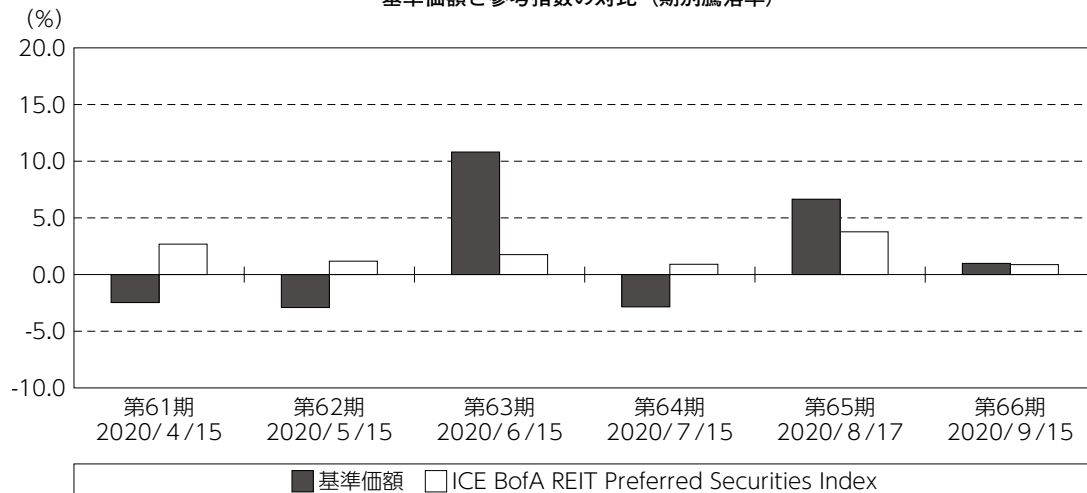
わが国の公社債および短期金融商品を主要投資対象とした運用を行い、政府保証債を組み入れました。

当ファンドのベンチマークとの差異

（2020年3月17日～2020年9月15日）

当ファンドは特定のベンチマークを設けておりませんが、分配金も考慮した当ファンドの基準価額の騰落率は、参考指数としているICE BofA REIT Preferred Securities Indexの騰落率を1.9%下回りました。

基準価額と参考指数の対比（期別騰落率）



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

(注) 参考指数は、ICE BofA REIT Preferred Securities Indexです。

分配金

（2020年3月17日～2020年9月15日）

当ファンドは、毎月15日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象収益の範囲として分配を行います。

分配金額は、委託会社が分配可能額、基準価額水準等を勘案して決定します。

当作成期間につきましては、主に配当等収益と売買益等を原資とし、第61期から第66期において1万円当たり20円（税引前）、合計120円の分配を行いました。

なお、収益分配に充てなかった留保益につきましては、運用の基本方針と同一の運用を行ってまいります。

（単位：円、1万円当たり・税引前）

項目	第61期	第62期	第63期	第64期	第65期	第66期
	2020年3月17日～ 2020年4月15日	2020年4月16日～ 2020年5月15日	2020年5月16日～ 2020年6月15日	2020年6月16日～ 2020年7月15日	2020年7月16日～ 2020年8月17日	2020年8月18日～ 2020年9月15日
当期分配金 (対基準価額比率)	20 0.282%	20 0.291%	20 0.263%	20 0.272%	20 0.256%	20 0.254%
当期の収益	20	20	20	20	20	20
当期の収益以外	—	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額	1,039	1,050	1,067	1,078	1,095	1,109

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

（投資環境）

○NB・OAM優先リートファンド（為替ヘッジあり）（適格機関投資家専用）

米国優先リート市場につきましては、景気の先行き不安や新型コロナウイルスの感染再拡大への懸念から、投資家のリスク回避姿勢が強まる局面が予想されます。一方、FRBは新しい金融政策指針を決定するなどゼロ金利政策を長く続ける姿勢を見せています。そのため、低金利環境の継続が見込まれる中、相対的に利回りが高い優先リート市場への資金流入が期待され、底堅い展開になると予想されます。また、これまでの財政・金融政策を背景に労働市場の改善が続いていることから、追加経済対策の成立が遅れたとしても、景気が再度下折れする可能性は低く、経済が正常化に向かう流れは変わらないと考えられます。こうした中、優先リートの発行体である米国リートが投資する不動産市場のファンダメンタルズ（経済の基礎的条件）改善への期待が高まるとみられ、支援材料になると考えられます。新型コロナウイルスについては、ワクチンの開発が進捗しており、早期開発への期待が相場を下支えする要因になると考えられます。

○マネー・リクイディティ・マザーファンド

国内短期金融市場は、日銀によるマイナス金利政策の継続が見込まれることから、主要な投資対象であるわが国の公社債および短期金融商品の利回りがマイナス圏での推移となり、今後も厳しい運用環境が続くと予想されます。

（運用方針）

<米国優先リートオープン（毎月決算型）（為替ヘッジあり）>

「NB・OAM優先リートファンド（為替ヘッジあり）（適格機関投資家専用）」の組入比率を高位に保つことを基本とします。

○NB・OAM優先リートファンド（為替ヘッジあり）（適格機関投資家専用）

NB・OAM優先リート・マザーファンドへの投資を通じて、主として米国の取引所に上場している不動産投資信託または不動産投資法人が発行する優先証券に投資し、安定的な収益と投資元本の保全を目指して運用を行っていく方針です。投資にあたっては、トップダウン分析、セクター・地域分析、ボトムアップ分析をもとに銘柄の選定を行い、個別銘柄の分析においては、経営陣の質や保有資産の価値、財務諸表の健全性、収益力などを基に銘柄の魅力度を総合的に判断して運用を行っていく方針です。実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行う方針です。

○マネー・リクイディティ・マザーファンド

わが国の公社債および短期金融商品を主要投資対象とし、安定した収益確保を目的に運用を行います。

○ 1 万口当たりの費用明細

（2020年3月17日～2020年9月15日）

項 目	第61期～第66期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
	円	%	
(a) 信託報酬 (投信会社) (販売会社) (受託会社)	42 (16) (24) (1)	0.568 (0.221) (0.331) (0.017)	(a) 信託報酬＝作成期間中の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料 (投資信託証券)	— (—)	— (—)	(b) 売買委託手数料＝作成期間中の売買委託手数料÷作成期間中の平均 受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有価証券取引税 (投資信託証券)	— (—)	— (—)	(c) 有価証券取引税＝作成期間中の有価証券取引税÷作成期間中の平均 受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) その他費用 (監査費用) (その他)	0 (0) (0)	0.007 (0.007) (0.000)	(d) その他費用＝作成期間中のその他費用÷作成期間中の平均受益権口数 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 その他は、金銭信託支払手数料
合 計	42	0.575	
作成期間中の平均基準価額は、7,353円です。			

(注) 作成期間中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

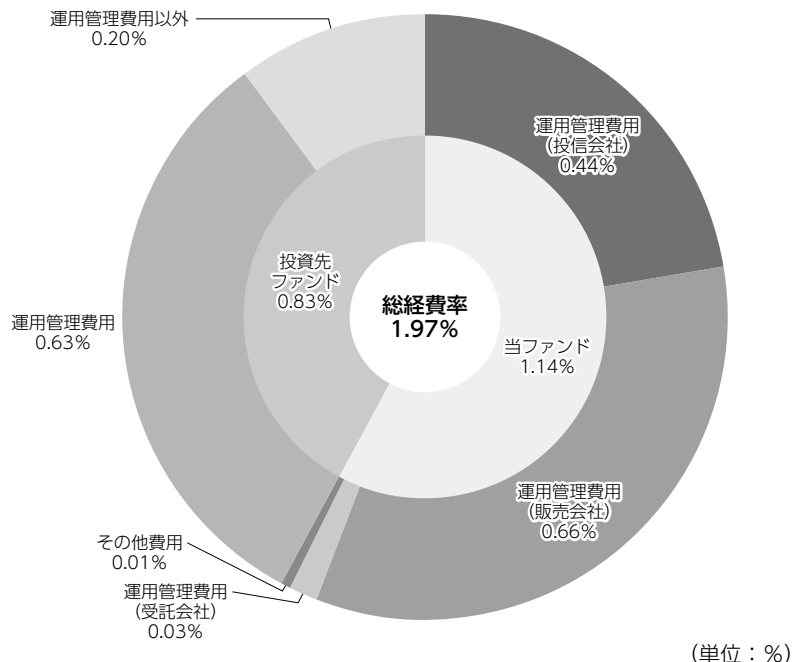
(注) 各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

○総経費率

作成期間中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を作成期間中の平均受益権口数に作成期間中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.97%です。



総経費率 (①+②+③)	1.97
①当ファンドの費用の比率	1.14
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.63
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.20

(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

（2020年3月17日～2020年9月15日）

○売買及び取引の状況とは、ファンドが購入・売却した有価証券の数量および金額です。

投資信託証券

銘柄		第 61 期 ～ 第 66 期			
		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
国 内	N B ・ O A M 優 先 リートファンド (為替ヘッジあり) (適格機関投資家専用)	口 1,390,241	千円 1,000	口 7,524,454	千円 6,000
合 計		1,390,241	1,000	7,524,454	6,000

(注) 金額は受渡代金。

(注) 単位未満は切捨て。

○利害関係人との取引状況等

（2020年3月17日～2020年9月15日）

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

（2020年9月15日現在）

ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

銘柄		第 60 期 末	第 66 期 末		
		口 数	口 数	評 価 額	比 率
	N B ・ O A M 優 先 リートファンド (為替ヘッジあり) (適格機関投資家専用)	口 314,872,643	口 308,738,430	千円 252,393	% 97.6
合 計		314,872,643	308,738,430	252,393	97.6

(注) 比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 口数・評価額の単位未満は切捨て。

親投資信託残高

銘柄		第 60 期 末	第 66 期 末	
		口 数	口 数	評 価 額
	マネー・リクイディティ・マザーファンド	千口 1,295	千口 1,295	千円 1,296

(注) 口数・評価額の単位未満は切捨て。

○投資信託財産の構成

（2020年9月15日現在）

項 目	第 66 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投 資 信 託 受 益 証 券	252,393	97.2
マ ネ ー ・ リ ク イ デ ィ テ ィ ・ マ ザ ー フ ァ ン ド	1,296	0.5
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	5,887	2.3
投 資 信 託 財 産 総 額	259,576	100.0

（注）評価額の単位未満は切捨て。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第61期末	第62期末	第63期末	第64期末	第65期末	第66期末
	2020年4月15日現在	2020年5月15日現在	2020年6月15日現在	2020年7月15日現在	2020年8月17日現在	2020年9月15日現在
	円	円	円	円	円	円
(A) 資産	240,173,592	232,549,886	250,086,319	242,304,291	257,714,345	259,576,216
コール・ローン等	5,933,988	5,314,988	4,886,396	5,224,189	5,567,936	5,886,115
投資信託受益証券（評価額）	232,942,781	225,938,204	243,903,359	235,783,538	250,849,974	252,393,666
マネー・リクイディティ・マザーファンド（評価額）	1,296,823	1,296,694	1,296,564	1,296,564	1,296,435	1,296,435
(B) 負債	878,356	900,444	897,011	891,092	916,582	893,811
未払収益分配金	676,078	676,078	657,978	657,978	657,978	657,978
未払信託報酬	199,952	221,781	236,283	230,436	255,626	233,115
未払利息	2	5	3	4	8	7
その他未払費用	2,324	2,580	2,747	2,674	2,970	2,711
(C) 純資産総額（A－B）	239,295,236	231,649,442	249,189,308	241,413,199	256,797,763	258,682,405
元本	338,039,047	338,039,047	328,989,273	328,989,273	328,989,273	328,989,273
次期繰越損益金	△ 98,743,811	△ 106,389,605	△ 79,799,965	△ 87,576,074	△ 72,191,510	△ 70,306,868
(D) 受益権総口数	338,039,047口	338,039,047口	328,989,273口	328,989,273口	328,989,273口	328,989,273口
1万口当たり基準価額（C/D）	7,079円	6,853円	7,574円	7,338円	7,806円	7,863円

（注）純資産総額が元本総額を下回っており、その差額は第61期98,743,811円、第62期106,389,605円、第63期79,799,965円、第64期87,576,074円、第65期72,191,510円、第66期70,306,868円です。

（注）計算期間末における1口当たりの純資産額は、第61期0.7079円、第62期0.6853円、第63期0.7574円、第64期0.7338円、第65期0.7806円、第66期0.7863円です。

（注）当ファンドの第61期首元本額は338,039,047円、第61～66期中追加設定元本額は0円、第61～66期中一部解約元本額は9,049,774円です。

○損益の状況

項 目	第61期	第62期	第63期	第64期	第65期	第66期
	2020年3月17日～ 2020年4月15日	2020年4月16日～ 2020年5月15日	2020年5月16日～ 2020年6月15日	2020年6月16日～ 2020年7月15日	2020年7月16日～ 2020年8月17日	2020年8月18日～ 2020年9月15日
	円	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益	1,259,400	1,259,354	1,234,751	1,234,806	1,234,833	1,234,765
受取配当金	1,259,491	1,259,491	1,234,954	1,234,954	1,234,954	1,234,954
受取利息	11	3	3	—	2	3
支払利息	△ 102	△ 140	△ 206	△ 148	△ 123	△ 192
(B) 有価証券売買損益	△ 7,147,609	△ 8,004,706	23,397,689	△ 8,119,821	15,066,307	1,543,692
売買益	—	—	23,965,155	—	15,066,436	1,543,692
売買損	△ 7,147,609	△ 8,004,706	△ 567,466	△ 8,119,821	△ 129	—
(C) 信託報酬等	△ 202,283	△ 224,364	△ 239,033	△ 233,116	△ 258,598	△ 235,837
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 6,090,492	△ 6,969,716	24,393,407	△ 7,118,131	16,042,542	2,542,620
(E) 前期繰越損益金	△68,397,200	△ 75,163,770	△80,586,625	△56,851,196	△64,627,305	△49,242,741
(F) 追加信託差損益金	△23,580,041	△ 23,580,041	△22,948,769	△22,948,769	△22,948,769	△22,948,769
(配当等相当額)	(26,065,114)	(26,065,114)	(25,367,313)	(25,367,313)	(25,367,313)	(25,367,313)
(売買損益相当額)	(△49,645,155)	(△ 49,645,155)	(△48,316,082)	(△48,316,082)	(△48,316,082)	(△48,316,082)
(G) 計(D+E+F)	△98,067,733	△105,713,527	△79,141,987	△86,918,096	△71,533,532	△69,648,890
(H) 収益分配金	△ 676,078	△ 676,078	△ 657,978	△ 657,978	△ 657,978	△ 657,978
次期繰越損益金(G+H)	△98,743,811	△106,389,605	△79,799,965	△87,576,074	△72,191,510	△70,306,868
追加信託差損益金	△23,580,041	△ 23,580,041	△22,948,769	△22,948,769	△22,948,769	△22,948,769
(配当等相当額)	(26,065,114)	(26,065,114)	(25,367,313)	(25,367,313)	(25,367,313)	(25,367,313)
(売買損益相当額)	(△49,645,155)	(△ 49,645,155)	(△48,316,082)	(△48,316,082)	(△48,316,082)	(△48,316,082)
分配準備積立金	9,080,675	9,440,397	9,759,273	10,103,964	10,662,429	11,135,370
繰越損益金	△84,244,445	△ 92,249,961	△66,610,469	△74,731,269	△59,905,170	△58,493,469

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定した価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 収益分配金

決算期	第61期	第62期	第63期	第64期	第65期	第66期
(a) 配当等収益(費用控除後)	1,057,917円	1,035,800円	1,223,580円	1,002,669円	1,216,443円	1,130,919円
(b) 有価証券等損益額 (費用控除後、繰越欠損金補填後)	0円	0円	0円	0円	0円	0円
(c) 信託約款に規定する収益調整金	26,065,114円	26,065,114円	25,367,313円	25,367,313円	25,367,313円	25,367,313円
(d) 信託約款に規定する分配準備積立金	8,698,836円	9,080,675円	9,193,671円	9,759,273円	10,103,964円	10,662,429円
分配対象収益(a+b+c+d)	35,821,867円	36,181,589円	35,784,564円	36,129,255円	36,687,720円	37,160,661円
分配対象収益(1万口当たり)	1,059円	1,070円	1,087円	1,098円	1,115円	1,129円
分配金額	676,078円	676,078円	657,978円	657,978円	657,978円	657,978円
分配金額(1万口当たり)	20円	20円	20円	20円	20円	20円

用語解説

○資産、負債、元本及び基準価額の状況は、期末における資産、負債、元本及び基準価額の計算過程を表しています。主な項目の説明は次の通りです。

項目	説明
資産	ファンドが保有する財産の合計です。
コール・ローン等	金融機関向けの安全性の高い短期貸付運用などの残高です。
各種有価証券等(評価額)	組入れた株式・債券・ファンドなどの評価金額です。
未収入金	入金が予定されている有価証券の売却代金などです。
未取配当金	入金が予定されている株式の配当金等です。
未取利息	入金が予定されているコール・ローン等の利息や債券の利息の合計です。
負債	支払いが予定されている金額の合計です。
未払収益分配金	期末時点で支払いが予定されている収益分配金です。
未払解約金	支払いが予定されている解約金です。
未払信託報酬	支払いが予定されている信託報酬の額です。
その他未払費用	支払いが予定されている監査費用、その他の費用です。
純資産総額(資産－負債)	ファンドが保有する財産の合計から支払いが予定されている金額の合計を差し引いたものです。
元本	ファンド全体の元本残高です。
次期繰越損益金	純資産総額と元本の差額（翌期に繰り越す損益金の合計額）です。
受益権総口数	受益者が保有する受益権口数の合計です。
1(万)口当たり基準価額	1(万)口当たりのファンドの時価です。

用語解説

○損益の状況は、期中にファンドがどのような収益や損失を計上したかを表しています。主な項目の説明は次の通りです。

項目	説明
配当等収益	ファンドが受取った配当金・利息等の合計です。
受取配当金	保有する株式等の配当金等です。
受取利息	債券、コール・ローン等の利息等です。
有価証券売買損益	有価証券の売買損益と期末の評価損益の合計額です。
売買益	売買益と期末評価益の合計です。
売買損	売買損と期末評価損の合計です。
信託報酬等	信託報酬のほか保管費用、監査費用、その他の費用と、それらに掛かる消費税等相当額です。
当期損益金	当期における収支合計です。
前期繰越損益金	前期分の分配準備積立金と繰越損益金の合計額から当期中の解約に対する持分を控除した金額です。
追加信託差損益金	受益者がファンドに払い込んだ金額と元本との差額です。
(配当等相当額)	配当等に相当する額です。
(売買損益相当額)	売買損益に相当する額です。
計	収益分配前の期中の収支の総合計です。
収益分配金	期中の分配可能額から受益者に支払われる分配金です。
次期繰越損益金	翌期に繰り越す損益金の合計です。
追加信託差損益金	翌期に繰り越す追加信託差損益金です。
(配当等相当額)	配当等に相当する額です。
(売買損益相当額)	売買損益に相当する額です。
分配準備積立金	翌期に繰り越す分配準備積立金の額です。
繰越損益金	翌期に繰り越す損益金の額です。

○分配金のお知らせ

	第61期	第62期	第63期	第64期	第65期	第66期
1 万口当たり分配金（税引前）	20円	20円	20円	20円	20円	20円
支払開始日	各決算日から起算して5営業日までの間に支払いを開始します。					
お支払場所	取得申込みを取扱った販売会社の本支店					

<お知らせ>

該当事項はございません。

○（参考情報）親投資信託の組入資産の明細

（2020年9月15日現在）

<マネー・リクイディティ・マザーファンド>

下記は、マネー・リクイディティ・マザーファンド全体（142,536千円）の内容です。

国内公社債

(A) 国内（邦貨建）公社債 種類別開示

区 分	第 66 期				末		
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	うちBB格以下 組 入 比 率	残 存 期 間 別 組 入 比 率		
					5 年 以 上	2 年 以 上	2 年 未 満
	千円	千円	%	%	%	%	%
特 殊 債 券 (除 く 金 融 債)	141,000 (141,000)	141,815 (141,815)	99.4 (99.4)	— (—)	— (—)	— (—)	99.4 (99.4)
合 計	141,000 (141,000)	141,815 (141,815)	99.4 (99.4)	— (—)	— (—)	— (—)	99.4 (99.4)

(注) () 内は非上場債券で内書きです。

(注) 組入比率は、当ファンドが組み入れているマザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(B) 国内（邦貨建）公社債 銘柄別開示

銘	柄	第 66 期			末
		利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
特殊債券(除く金融債)		%	千円	千円	
第120回政府保証日本高速道路保有・債務返済機構債券		0.9	54,000	54,063	2020/10/30
第122回政府保証日本高速道路保有・債務返済機構債券		0.9	3,000	3,005	2020/11/30
第126回政府保証日本高速道路保有・債務返済機構債券		1.2	3,000	3,013	2021/1/29
第133回政府保証日本高速道路保有・債務返済機構債券		1.3	30,000	30,251	2021/4/30
第137回政府保証日本高速道路保有・債務返済機構債券		1.2	47,000	47,468	2021/6/30
第19回政府保証地方公共団体金融機構債券		1.2	4,000	4,012	2020/12/14
合 計			141,000	141,815	

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

<参考情報>

NB・OAM優先リートファンド（為替ヘッジあり）（適格機関投資家専用）

<当ファンドの仕組みは次の通りです>

運用会社	ニューバーガー・バーマン株式会社
主な投資対象	NB・OAM優先リート・マザーファンド（以下、「マザーファンド」）の受益証券を主要投資対象とします。
運用方針	この投資信託は、マザーファンドへの投資を通じて、実質的に主に米国優先リートから構成されるポートフォリオを構築し、安定したインカムゲインの確保による信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。
為替ヘッジ	実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図ります。
主要な投資制限	①マザーファンドの受益証券の投資割合には制限を設けません。 ②外貨建資産の実質投資割合には制限を設けません。 ③外貨建資産への直接投資は行いません。 ④株式への直接投資は行いません。 ⑤デリバティブの直接利用は行いません。

NB・OAM優先リートファンド（為替ヘッジあり）（適格機関投資家専用）

○損益の状況

項 目	第40期	第41期	第42期	第43期	第44期	第45期
	2020年3月10日～ 2020年4月8日	2020年4月9日～ 2020年5月8日	2020年5月9日～ 2020年6月8日	2020年6月9日～ 2020年7月8日	2020年7月9日～ 2020年8月11日	2020年8月12日～ 2020年9月8日
	円	円	円	円	円	円
(A) 有価証券売買損益	△272,092,801	88,366,677	118,497,559	△47,391,107	50,541,286	14,721,885
売買益	14,968,485	100,533,167	190,556,698	17,942,419	51,048,680	27,836,652
売買損	△287,061,286	△12,166,490	△72,059,139	△65,333,526	△507,394	△13,114,767
(B) 信託報酬等	△680,348	△711,497	△735,199	△746,508	△834,949	△723,555
(C) 当期損益金(A+B)	△272,773,149	87,655,180	117,762,360	△48,137,615	49,706,337	13,998,330
(D) 前期繰越損益金	△195,673,223	△474,011,570	△389,843,711	△272,950,094	△326,602,676	△282,442,342
(E) 追加信託差損益金	21,740,923	20,244,907	17,958,938	16,479,103	14,720,147	13,912,454
(配当等相当額)	(43,024,109)	(43,362,795)	(43,412,836)	(42,874,906)	(43,206,267)	(43,360,687)
(売買損益相当額)	(△21,283,186)	(△23,117,888)	(△25,453,898)	(△26,395,803)	(△28,486,120)	(△29,448,233)
(F) 計(C+D+E)	△446,705,449	△366,111,483	△254,122,413	△304,608,606	△262,176,192	△254,531,558
(G) 収益分配金	△5,565,198	△5,587,182	△5,587,841	△5,514,967	△5,546,003	△5,563,234
次期繰越損益金(F+G)	△452,270,647	△371,698,665	△259,710,254	△310,123,573	△267,722,195	△260,094,792
追加信託差損益金	21,740,923	20,244,907	17,958,938	16,479,103	14,720,147	13,912,454
(配当等相当額)	(43,146,257)	(43,366,790)	(43,423,679)	(42,914,132)	(43,211,950)	(43,366,656)
(売買損益相当額)	(△21,405,334)	(△23,121,883)	(△25,464,741)	(△26,435,029)	(△28,491,803)	(△29,454,202)
分配準備積立金	11,668,910	7,474,216	4,445,389	9,000,366	4,659,184	1,053,231
繰越損益金	△485,680,480	△399,417,788	△282,114,581	△335,603,042	△287,101,526	△275,060,477

○組入資産の明細

(2020年9月8日現在)

親投資信託残高

銘 柄	第 39 期 末	第 45 期 末
	口 数	口 数
	千口	千口
	口	口
	千円	千円
NB・OAM優先リート・マザーファンド	1,157,965	1,161,265
		1,135,369

<参考情報>

NB・OAM優先リート・マザーファンド

<当ファンドの仕組みは次の通りです>

運用会社	ニューバーガー・バーマン株式会社
主な投資対象	米国の金融商品取引所等（これに準じるものを含みます。）に上場（上場予定を含みます。）している不動産投資信託及び不動産投資法人が発行する優先リートを主要投資対象とします。また、普通リートにも投資することがあります。
運用方針	この投資信託は、主に米国優先リートから構成されるポートフォリオを構築し、安定したインカムゲインの確保による信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。
投資態度	<p>外貨建資産の運用の指図に係る権限をニューバーガー・バーマン・インベストメント・アドバイザーズ・エルエルシーに委託します。</p> <p>①主として米国の金融商品取引所に上場している優先リートへの投資を通じ、安定したインカムリターン確保による中期的な信託財産の成長を目指して運用を行います。また、普通リートにも投資することがあります。</p> <p>②優先リートおよび普通リートへの投資割合は、原則として高位を維持します。</p> <p>③組入外貨建資産に対する為替ヘッジは、原則として行いません。</p> <p>④資金動向、市況動向の急激な変化が生じたとき等並びに投資信託財産の規模によっては、上記の運用ができない場合があります。</p>
主な投資制限	外貨建資産の投資割合には制限を設けません。

NB・OAM優先リート・マザーファンド

○損益の状況（2018年12月11日～2019年12月9日）

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	163,724,218
受取配当金	162,162,479
受取利息	1,561,739
(B) 有価証券売買損益	103,722,624
売買益	245,915,531
売買損	△142,192,907
(C) 信託報酬等	△ 532,110
(D) 当期損益金(A+B+C)	266,914,732
(E) 前期繰越損益金	△ 73,709,481
(F) 追加信託差損益金	50,933,644
(G) 解約差損益金	△ 23,346,216
(H) 計(D+E+F+G)	220,792,679
次期繰越損益金(H)	220,792,679

○組入資産の明細

(2019年12月9日現在)

外国投資信託証券

銘柄	当期				比率
	口数	評価額		金額	
		外貨	建金		
(アメリカ)	口	千ドル	千円		%
American Homes 4 Rent D	10,500	275	29,904		0.9
American Homes 4 Rent	9,000	234	25,500		0.8
AMERICAN HOMES 4 RENT AMH 5 7/8 PER	16,300	421	45,827		1.4
AMERICAN HOMES 4 RENT AMH 5 7/8 PER	23,657	612	66,489		2.1
Ashford Hospitality Trust Inc G	43,430	921	100,084		3.1
BROOKFIELD PROPERTY REIT I-A	7,583	142	15,482		0.5
BROOKFIELD PPTY REIT INC	28,579	721	78,367		2.5
CBL & Associates Properties Inc Deposit	11,204	57	6,268		0.2
Cedar Realty Trust Inc 7 1/4 % Cum Red P	5,021	125	13,637		0.4
CEDAR REALTY TRUST INC	9,456	216	23,495		0.7
COLONY CAPITAL, INC	41,534	949	103,157		3.2
COLONY CAPITAL, INC	11,300	259	28,188		0.9
CoreSite Realty Corporation	1,230	138	15,094		0.5
DIGITAL REALTY TRUST INC	9,000	240	26,077		0.8
DIGITAL REALTY TR C 6.625(PREF)	20,790	548	59,617		1.9
Digital Realty Trust Inc I	22,250	576	62,583		2.0
Hersha Hospitality Trust 6 7/8 % Cum Red	24,686	624	67,826		2.1
Hersha Hospitality Trust	13,500	339	36,843		1.2
IRON MOUNTAIN INCORPORATED REIT NEW	4,285	140	15,240		0.5
Kimco Realty Corporation	8,387	177	19,291		0.6
KIMCO REALTY CORP	43,985	1,115	121,103		3.8
National Retail Properties, Inc.	2,506	136	14,848		0.5
National Retail Properties Inc 5.2	38,149	965	104,858		3.3
Omega Healthcare Investors, Inc.	3,965	168	18,291		0.6
PS BUSINESS PARKS INC	26,000	640	69,517		2.2
PS BUSINESS PARKS INC PSB 5.2 PERP	8,600	218	23,703		0.7
PS BUSINESS PARKS INC	4,000	102	11,155		0.4
PS BUSINESS PARKS INC PSB 5.2	19,832	502	54,567		1.7
Ps Business Parks Inc	4,400	111	12,089		0.4
Pebblebrook Hotel Trust 6 1/2 % Cum Red	29,481	744	80,905		2.5
PEBBLEBROOK HOTEL TR (PFD) 6.375	30,589	764	83,049		2.6
PENN REAL ESTATE INVEST PEI 6 7/8 P	36,000	732	79,560		2.5
PUBLIC STORAGE	10,100	260	28,309		0.9
PUBLIC STORAGE	11,100	302	32,812		1.0
PUBLIC STORAGE PSA 5.05 12/31/49	38,288	977	106,197		3.3
Public Storage Deposit Shs Repr 1/1000th	21,055	533	57,919		1.8
QTS REALTY TRUST INC	18,700	505	54,933		1.7
Rexford Industrial Realt	26,781	694	75,415		2.4
REXFORD INDUSTRIAL REALT	6,400	165	18,001		0.6

NB・OAM優先リート・マザーファンド

銘 柄	当 期 末			
	口 数	評 価 額		比 率
		外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額	
(アメリカ)	口	千ドル	千円	%
SL Green Realty Corporation 6 1/2 % Cum	16,800	431	46,834	1.5
SAUL CENTERS INC	4,400	115	12,591	0.4
SAUL CENTERS INC	17,100	441	47,912	1.5
Simon Property Group, Inc.	772	114	12,427	0.4
SITE CENTERS CORP (PFD) SERIES K	12,004	305	33,125	1.0
SITE CENTERS CORP (PFD) SERIES A	27,665	725	78,829	2.5
STAG Industrial, Inc.	5,154	159	17,295	0.5
Stag Industrial Inc 6 7/8 % Cum Red Pfd	23,736	637	69,186	2.2
SUMMIT HOTEL PROPERTIES INC 6.45% S	12,000	308	33,512	1.1
SUMMIT HOTEL PROPERTIES	26,600	663	72,074	2.3
Sunstone Hotel Investors Inc % Cum Red P	34,146	891	96,785	3.0
Sunstone Hotel Investors Inc	14,000	366	39,758	1.2
Taubman Centers Inc 6 1/4 % Cum Red Pfd	21,500	548	59,598	1.9
UMH Properties Inc 6.75	48,349	1,235	134,154	4.2
UMH Properties Inc 6.375	17,300	431	46,875	1.5
URSTADT BIDDLE PROPERTIE	8,500	218	23,779	0.7
Ventas, Inc.	2,194	126	13,698	0.4
VEREIT INC COM	16,570	159	17,347	0.5
VEREIT Inc	39,921	1,006	109,339	3.4
Vornado Realty Trust L	21,841	553	60,080	1.9
VORNADO REALTY TRUST 5.70% SER K CU	16,000	406	44,100	1.4
Washington Prime Group Inc	39,876	780	84,747	2.7
合 計	口 数 ・ 金 額	1,128,051	27,995	3,040,269
	銘 柄 数<比 率>	61	—	<95.6%>

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 邦貨換算金額欄の< >内は、純資産総額に対する各国別投資信託証券評価額の比率。

(注) 口数・評価額の単位未満は切捨て。

マネー・リクイディティ・マザーファンド

マザーファンドの運用報告書につきましては、ベビーファンドの運用報告書と作成対象期間が異なる場合には、データ・コメント等に不一致が生じる場合がありますのでご了承ください。

マネー・リクイディティ・マザーファンド

第10期 運用状況のご報告

決算日：2020年7月17日

当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	わが国の公社債および短期金融商品を主要投資対象とし、安定した収益の確保を図ることを目的として安定運用を行います。
主要投資対象	わが国の公社債および短期金融商品を主要投資対象とします。
投資制限	株式および外貨建資産への投資は行いません。

○最近5期の運用実績

決算期	基準	価 額		債券組入比率	債券先物比率	純資産総額
		期 中 騰 落 率				
	円		%	%	%	百万円
6期(2016年7月19日)	10,036		0.0	66.9	—	165
7期(2017年7月18日)	10,031		△0.0	89.5	—	167
8期(2018年7月17日)	10,025		△0.1	64.8	—	155
9期(2019年7月17日)	10,018		△0.1	68.7	—	146
10期(2020年7月17日)	10,010		△0.1	94.6	—	142

(注) 基準価額は1万円当たり。

(注) 当ファンドは、特定の指数を上回るまたは連動する成果を目指した運用を行っておりません。そのため、特定のベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

(注) 債券先物比率=買建比率-売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

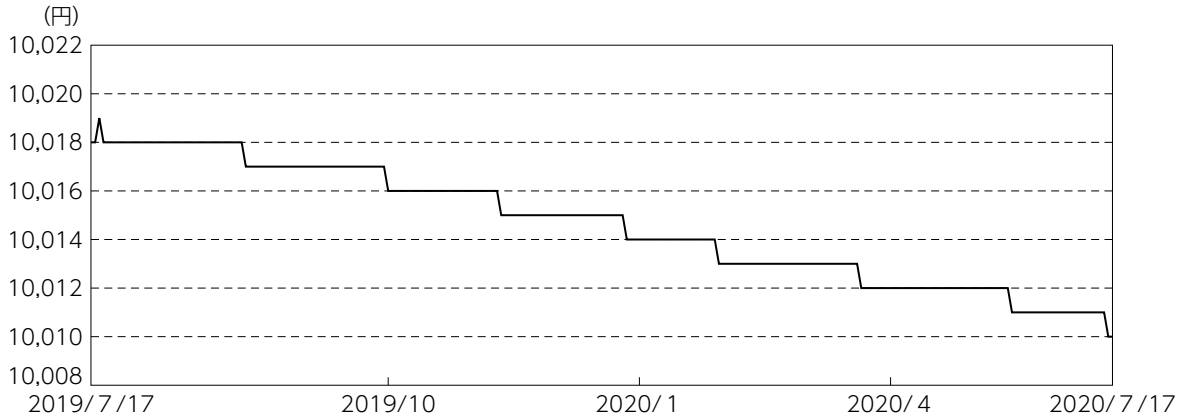
年 月 日	基準	価 額		債券組入比率	債券先物比率
		騰 落 率			
(期首)	円		%	%	%
2019年7月17日	10,018		—	68.7	—
7月末	10,018		0.0	96.0	—
8月末	10,018		0.0	96.0	—
9月末	10,017		△0.0	97.2	—
10月末	10,016		△0.0	62.5	—
11月末	10,016		△0.0	91.3	—
12月末	10,015		△0.0	56.3	—
2020年1月末	10,014		△0.0	56.2	—
2月末	10,014		△0.0	91.4	—
3月末	10,013		△0.0	73.2	—
4月末	10,012		△0.1	73.2	—
5月末	10,012		△0.1	73.1	—
6月末	10,011		△0.1	66.3	—
(期末)					
2020年7月17日	10,010		△0.1	94.6	—

(注) 騰落率は期首比。

運用経過

期中の基準価額の推移

(2019年7月18日～2020年7月17日)



○基準価額の主な変動要因

当ファンドにおける主なプラス要因およびマイナス要因は以下の通りです。

(主なプラス要因)

- ・特にありません。

(主なマイナス要因)

- ・日銀のマイナス金利政策の影響により、保有債券の利回りがマイナス圏で推移したことが、マイナス要因となりました。

投資環境

(2019年7月18日～2020年7月17日)

短期金融市場では、1年国債利回りがレンジ内で推移する展開となりました。米中貿易摩擦の激化を背景に景気減速懸念が強まり、世界的に債券利回りが低下したことや日銀の追加金融緩和観測の高まりなどを受け、2019年10月上旬に1年国債利回りは-0.30%台へ低下しました。しかし、米中通商協議の進展や日銀のマイナス金利の深掘り観測が後退したことにより、2020年1月上旬に1年国債利回りは-0.10%へ上昇しました。その後、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大に伴う景気減速懸念を背景に、3月上旬にかけて1年国債利回りは-0.2%台後半へ急低下する場面がありましたが、日銀がマイナス金利の深掘りを見送ったことから、利回りが急上昇しました。ただ、4月以降は、-0.15%近辺でもみ合う動きとなりました。

当ファンドのポートフォリオ

(2019年7月18日～2020年7月17日)

わが国の公社債および短期金融商品を主要投資対象とした運用を行いました。当期間中は、政府保証債を組み入れました。

当ファンドのベンチマークとの差異

(2019年7月18日～2020年7月17日)

当ファンドはベンチマークおよび参考指数がないため、本項目は記載していません。

今後の運用方針

(投資環境の見通し)

国内短期金融市場は、日銀によるマイナス金利政策の継続が見込まれることから、主要な投資対象であるわが国の公社債および短期金融商品の利回りがマイナス圏での推移となり、今後も厳しい運用環境が続くと予想されます。

(運用方針)

わが国の公社債および短期金融商品を主要投資対象とし、安定した収益確保を目的に運用を行います。

〇1万口当たりの費用明細

(2019年7月18日～2020年7月17日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用 (そ の 他)	円 0 (0)	% 0.002 (0.002)	(a)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 その他は、金銭信託支払手数料
合 計	0	0.002	
期中の平均基準価額は、10,014円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

〇売買及び取引の状況

(2019年7月18日～2020年7月17日)

公社債

		買 付 額	売 付 額
国 内	特殊債券	千円 215,715	千円 — (180,000)

(注) 金額は受渡代金。（経過利子分は含まれておりません。）

(注) 単位未満は切捨て。

(注) () 内は償還等による増減分です。

○利害関係人との取引状況等

(2019年7月18日～2020年7月17日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2020年7月17日現在)

国内公社債

(A) 国内（邦貨建）公社債 種類別開示

区 分	当 期			末			
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	うちBB格以下 組 入 比 率	残 存 期 間 別 組 入 比 率		
					5 年 以 上	2 年 以 上	2 年 未 満
特 殊 債 券 (除 く 金 融 債)	千円 134,000 (134,000)	千円 134,998 (134,998)	% 94.6 (94.6)	% — (—)	% — (—)	% — (—)	% 94.6 (94.6)
合 計	134,000 (134,000)	134,998 (134,998)	94.6 (94.6)	— (—)	— (—)	— (—)	94.6 (94.6)

(注) () 内は非上場債券で内書きです。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(B) 国内（邦貨建）公社債 銘柄別開示

銘 柄	当 期			末
	利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
特殊債券（除く金融債）	%	千円	千円	
第120回政府保証日本高速道路保有・債務返済機構債券	0.9	54,000	54,148	2020/10/30
第122回政府保証日本高速道路保有・債務返済機構債券	0.9	3,000	3,010	2020/11/30
第126回政府保証日本高速道路保有・債務返済機構債券	1.2	3,000	3,019	2021/1/29
第133回政府保証日本高速道路保有・債務返済機構債券	1.3	30,000	30,318	2021/4/30
第137回政府保証日本高速道路保有・債務返済機構債券	1.2	40,000	40,482	2021/6/30
第19回政府保証地方公共団体金融機構債券	1.2	4,000	4,019	2020/12/14
合 計		134,000	134,998	

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

○投資信託財産の構成

(2020年7月17日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公 社 債	千円 134,998	% 94.6
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	7,688	5.4
投 資 信 託 財 産 総 額	142,686	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2020年7月17日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	142,686,289
コール・ローン等	7,114,469
公社債(評価額)	134,998,813
未収利息	189,748
前払費用	383,259
(B) 負債	73
未払利息	8
その他未払費用	65
(C) 純資産総額(A-B)	142,686,216
元本	142,536,794
次期繰越損益金	149,422
(D) 受益権総口数	142,536,794口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,010円

(注) 計算期間末における1口当たりの純資産額は、1.0010円です。

(注) 当ファンドの期首元本額は146,031,004円、期中追加設定元本額は0円、期中一部解約元本額は3,494,210円です。

(注) 当親ファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本額は、以下の通りです。

欧州ハイ・イールド債券オープン (毎月決算型) ユーロコース	94,638,188円
欧州ハイ・イールド債券オープン (毎月決算型) 円コース	26,700,315円
米国優先リートオープン (毎月決算型) (為替ヘッジなし)	13,944,816円
アジア ハイ・イールド債券オープン (為替ヘッジなし)	2,483,390円
欧州ハイ・イールド債券オープン (1年決算型) ユーロコース	2,369,068円
米国優先リートオープン (毎月決算型) (為替ヘッジあり)	1,295,140円
欧州ハイ・イールド債券オープン (1年決算型) 円コース	603,537円
アジア ハイ・イールド債券オープン (為替ヘッジあり)	502,340円

○損益の状況 (2019年7月18日～2020年7月17日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	1,070,975
受取利息	1,082,273
支払利息	△ 11,298
(B) 有価証券売買損益	△1,177,644
売買損	△1,177,644
(C) その他費用等	△ 2,169
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 108,838
(E) 前期繰越損益金	264,050
(F) 解約差損益金	△ 5,790
(G) 計(D+E+F)	149,422
次期繰越損益金(G)	149,422

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(F)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

＜お知らせ＞

該当事項はございません。